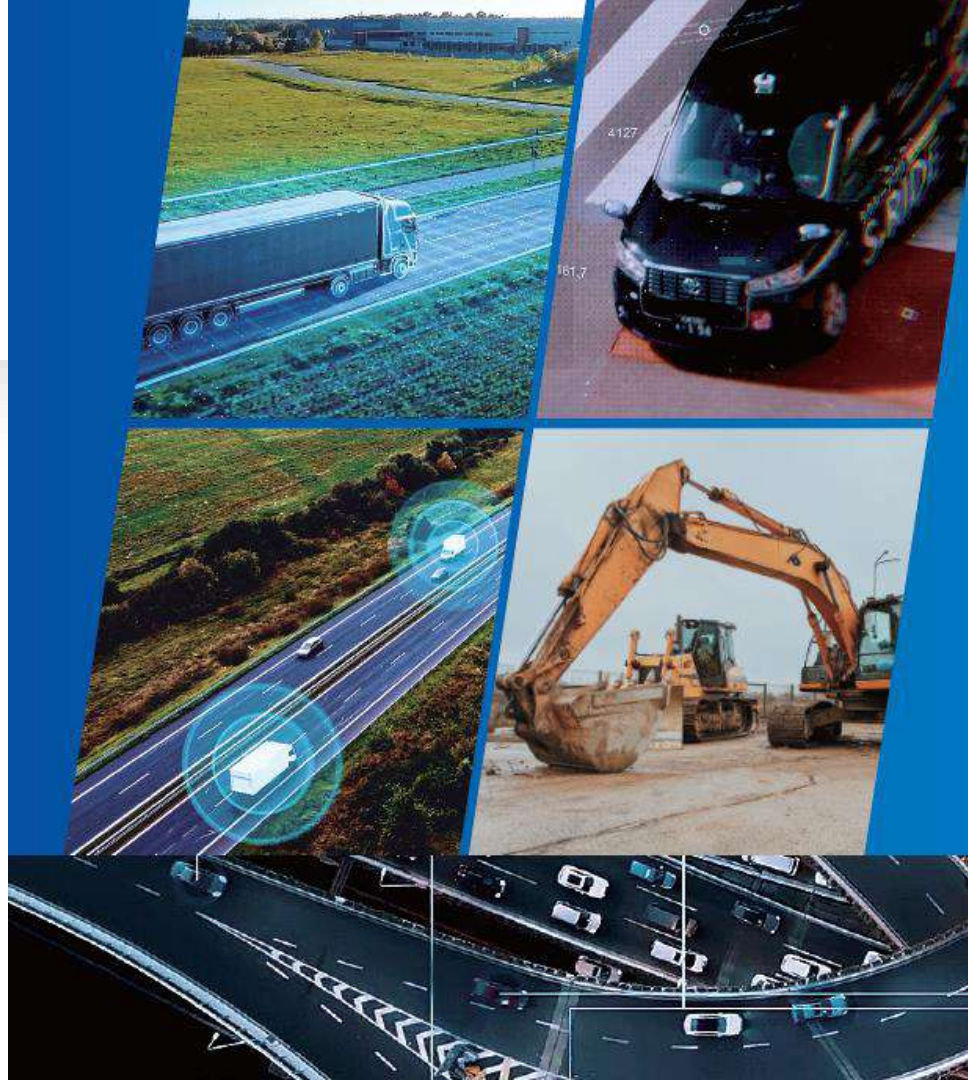


実践するSDGsと 荷主に報告できる CO2排出量可視化の取組

WG09
SDGsの推進と、カーボンニュートラル・
エコドライブの実現

2024.7.5 TDBC Forum 2024



WG09参加メンバー（順不同）

事業者会員 4社

- 谷口運送株式会社
- 株式会社セイリョウライン
- 日立建機ロジテック株式会社
- 梅田運輸倉庫株式会社

サポート会員 17社

- 株式会社サトー
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 株式会社アスア
- 株式会社スマートバリュー
- 株式会社商工組合中央金庫
- ロケーションマインド株式会社
- 株式会社ブリヂストン
- 株式会社デンソーウェーブ
- 日本ミシュランタイヤ株式会社
- 太陽鋳油株式会社
- N S W株式会社
- 国土交通省
- 矢崎エナジーシステム株式会社
- 一般財団法人 環境優良車普及機構
- 株式会社GCAP
- アルファス株式会社
- パイオニア株式会社

1 CO2削減に資するソリューションの実証実験の継続

- ・ 昨期から引き続きサポート会員のソリューションを事業者会員で実証実験

2 中小運輸事業者が目指す、CO2排出量の可視化

- ・ 実燃費と積荷データによる精緻なCO2計算
- ・ 元請けとして荷主に対する報告責任を果たせる仕組み作り（自社運行分 Scope1 + 協力会社依頼分 Scope3）の把握

3 SDGs 啓発活動

- ・ 取組支援ツール『SDGs ナレッジバンク』の作成
- ・ 啓発イベントの開催

1 CO2削減に資するソリューションの実証実験の継続

- ・ 昨期から引き続きサポート会員のソリューションを事業者会員で実証実験

2 中小運輸事業者が目指す、CO2排出量の可視化

- ・ 実燃費と積荷データによる精緻なCO2計算
- ・ 元請けとして荷主に対する報告責任を果たせる仕組み作り（自社運行分 Scope1 + 協力会社依頼分 Scope3）の把握

3 SDGs 啓発活動

- ・ 取組支援ツール『SDGs ナレッジバンク』の作成
- ・ 啓発イベントの開催



実証実験の御礼と、今後のご協力をお願い

2024/07/05

株式会社ブリヂストン
ソリューション企画開発第1部

未来からの信認を得ながら経営を進める軸



Energy	カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする
Ecology	持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、 より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする
Efficiency	モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする
Extension	人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする
Economy	モビリティとオペレーションの経済価値を支えていくことにコミットする
Emotion	心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする
Ease	より安心で心地よいモビリティライフを支えることにコミットする
Empowerment	すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする

青字：物流に関わる活動

WG09の活動を通じ、タイヤ会社として運送事業者様に貢献したいと考えています。

実証実験の進捗状況

2023年7月以降、タイヤのリアルと運行のデジタルを組み合わせた実証実験にご協力頂き、誠にありがとうございました。

お陰様で、貴重なデータと知見を得ることが出来、また運送事業者様の忌憚りの無いご意見を頂くことができ、現場ベースで有意義な議論・技術開発ができました。

今後はよりスコープを広げ、E8コミットメントを軸に、タイヤ会社ならではの視点から運送事業者様の事業に貢献できるソリューション開発を推進して参ります。

具体的な進め方に関しては、ご相談させていただきます。

今年も引き続きご協力の程よろしくお願い致します。



1 CO2削減に資するソリューションの実証実験の継続

- ・ 昨期から引き続きサポート会員のソリューションを事業者会員で実証実験

2 中小運輸事業者が目指す、CO2排出量の可視化

- ・ 実燃費と積荷データによる精緻なCO2計算
- ・ 元請けとして荷主に対する報告責任を果たせる仕組み作り（自社運行分 Scope1 + 協力会社依頼分 Scope3）の把握

3 SDGs 啓発活動

- ・ 取組支援ツール『SDGs ナレッジバンク』の作成
- ・ 啓発イベントの開催

WG09_CNの取組

中小運輸事業者が目指す、CO2排出量の可視化

最終目標

自社運行分 Scope1 + 協力会社依頼分 Scope3のCO2排出量を
走行・積載・燃費の実データを用いて精緻に算出し、
 元請けとして取引先ごとのCO2排出量を把握する

今年度 . . . STEP. 1

荷主企業1社の自社運行分 ⇒ Scope1の可視化

※ CO2可視化に必要なデータや計算方法を確認 ⇒ 計算モデルを確立

STEP. 2

荷主企業1社の協力会社依頼分 ⇒ Scope3の可視化

※ STEP.1で確立した計算方法をScope3で実行するための検討

STEP.3

全ての自社運行分・協力会社依頼分のCO2排出量の可視化

WG09_CNの取組

混載なし

STEP. 1

荷主企業1社の自社運行分

⇒ Scope1の可視化

※ CO2可視化に必要なデータや計算方法を確認 ⇒ 計算モデルを確立

②積載データの把握・紐づけ

デジタコ情報 (日報作業明細)							積載情報					積載情報		燃費情報		運行効率計算		計算結果						
運転手ID	作業状態	開始時刻	終了時刻	再乗距離 (km)	再乗時間 (min)	地点コード	地点名	取付状況	地点コード	積載量	積載率	積主情報	積取積載率	最大積載量	積取積載率	当月平均燃費	燃料使用量	運行積載率	運行開始時の積載効率	CO2削減率 (kgCO2)	1kmのCO2削減率	1t/km CO2削減率	運行距離が0.01t/km CO2削減率	
267	出庫	2023/6/12 8:37	2023/6/12 8:37	0	0		78セインライン_小牧車庫					C社	0	20000	0.0%	3.1	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
267	運行	2023/6/12 8:40	2023/6/12 9:03	4	23		78セインライン_小牧車庫					C社	0	20000	0.0%	3.1	1.30378	0.0	0.0%	3.36	0.00	0.00	0.00	0.00
267	荷卸	2023/6/12 9:03	2023/6/12 9:43	0	0		3C社 A				?????	C社	0	20000	0.0%	3.1	0.0	0.0	0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
267	運行	2023/6/12 9:45	2023/6/12 10:09	5	24		愛知製小牧市河3丁目					空車	0	20000	0.0%	3.1	1.629726	0.0	0.0%	4.20	0.00	0.00	0.00	0.00
267	荷積	2023/6/12 10:09	2023/6/12 10:34	0	0		104B社 春日井工場		7,000	0	B社	0	20000	0.0%	3.1	0.0	0.0	0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
267	運行	2023/6/12 10:34	2023/6/12 10:56	4	21		愛知製春日井市牛山町					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	1.30378	1.4	10.8%	3.36	0.48	0.12	0.03	0.03
267	荷運	2023/6/12 10:56	2023/6/12 10:56	0	0		78セインライン_小牧車庫					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.0	0.0	10.8%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
322	出庫	2023/6/12 14:07	2023/6/12 14:07	0	0		78セインライン_小牧車庫					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.0	0.0	10.8%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
322	運行	2023/6/12 14:14	2023/6/12 14:29	3	15		78セインライン_小牧車庫					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.977835	1.1	15.3%	2.52	0.36	0.12	0.05	0.05
322	運行	2023/6/12 14:29	2023/6/12 16:09	132	100		愛知製小牧市村中					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	43.02477	46.2	32.9%	111.00	15.86	0.12	0.11	0.11
322	休憩	2023/6/12 16:09	2023/6/12 18:53	0	0		OSA					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.0	0.0	32.9%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
322	運行	2023/6/12 18:53	2023/6/12 21:55	236	181		SA					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	76.92307	82.6	34.2%	198.46	28.35	0.12	0.11	0.11
322	休憩	2023/6/12 21:55	2023/6/12 23:46	0	0		埼玉製鉄・豊市大田+谷					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.0	0.0	34.2%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
322	運行	2023/6/12 23:46	2023/6/13 0:01	18	15		埼玉製鉄・豊市大田+谷					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	5.867014	6.3	34.2%	15.14	2.16	0.12	0.11	0.11
322	運行	2023/6/13 0:02	2023/6/13 0:16	7	14		埼玉製鉄・豊市大田+谷					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	2.281616	2.5	34.2%	5.89	0.84	0.12	0.11	0.11
322	休憩	2023/6/13 0:16	2023/6/13 4:54	0	0		埼玉製鉄・豊市大田+谷					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.0	0.0	34.2%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
322	荷卸	2023/6/13 5:03	2023/6/13 6:23	0	0		128B社 所沢		0	7,000	B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.0	0.0	34.2%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	
322	運行	2023/6/13 6:23	2023/6/13 6:42	8	18		128B社 所沢					空車	0	20000	0.0%	3.1	2.607561	0.0	33.6%	6.73	0.00	0.00	0.00	0.11
322	運行	2023/6/13 6:42	2023/6/13 6:46	5	4		埼玉製鉄・豊市大田+谷					B社	0	20000	0.0%	3.1	1.629726	0.0	33.2%	4.20	0.00	0.00	0.00	0.11
322	運行	2023/6/13 6:47	2023/6/13 7:50	44	63		埼玉製鉄・豊市大田+谷					空車	0	20000	0.0%	3.1	14.34158	0.0	30.0%	37.00	0.00	0.00	0.00	0.10
322	運行	2023/6/13 7:51	2023/6/13 8:29	13	37		千葉製鉄・大井田					空車	0	20000	0.0%	3.1	4.237288	0.0	29.2%	10.93	0.00	0.00	0.00	0.10
322	休憩	2023/6/13 8:29	2023/6/13 10:06	0	0		129A社 柏					空車	0	20000	0.0%	3.1	0.0	0.0	29.2%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
322	荷積	2023/6/13 10:09	2023/6/13 11:09	0	0		129A社 柏		13,868	0	B社	0	20000	0.0%	3.1	0.0	0.0	29.2%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	

① デジタコイベントデータを正しく記録

③ 算出結果

WG09_CNの取組

混載なし

課題

デジタコデータと積載データの紐づけに手間がかかる

デジタコ情報 (日報作業明細)							積載情報				積載情報		燃費情報		運行効率計算		計算結果						
運転手ID	作業状態	開始時刻	終了時刻	所要距離 (km)	所要時間 (min)	地点コード	地点名	取引先名	地点コード	積重量	降重量	荷主情報	現在積載重量	最大積載量	現在積載率	当月平均燃費	燃料使用量	運行積載係数	運行開始からの積載効率	CO2 排出量 (kgCO2)	1あたりCO2 排出量	1t/km_CO2 排出量	運行開始からの1t/km_CO2
267	出庫	2023/6/12 8:37	2023/6/12 8:37	0	0	78	セイヤウライン_小牧車庫					C社	0	20000	0.0%	3.1	0	0.0	-	0.00	0.00	0.00	0.00
267	走行	2023/6/12 8:40	2023/6/12 9:03	4	23	78	セイヤウライン_小牧車庫					C社	0	20000	0.0%	3.1	1.303781	0.0	0.0%	3.36	0.00	0.00	0.00
267	荷卸	2023/6/12 9:03	2023/6/12 9:43	0	0	3	C社_A			?????		C社	0	20000	0.0%	3.1	0	0.0	0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00
267	走行	2023/6/12 9:45	2023/6/12 10:09	5	24		愛知県小牧市元町 3丁目					空車	0	20000	0.0%	3.1	1.6297262	0.0	0.0%	4.20	0.00	0.00	0.00
267	荷積	2023/6/12 10:09	2023/6/12 10:34	0	0	104	B社 春日井工場			7,000	0	B社	0	20000	0.0%	3.1	0	0.0	0.0%	0.00	0.00	0.00	0.00
267	走行	2023/6/12 10:34	2023/6/12 10:56	4	21		愛知県春日井市牛山町			7,000		B社	7,000	20000	35.0%	3.1	1.303781	1.4	10.8%	3.36	0.48	0.12	0.037
267	帰庫	2023/6/12 10:56	2023/6/12 10:56	0	0	78	セイヤウライン_小牧車庫			7,000		B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0	0.0	10.8%	0.00	0.00	0.00	0.037
322	出庫	2023/6/12 14:07	2023/6/12 14:07	0	0	78	セイヤウライン_小牧車庫					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0	0.0	10.8%	0.00	0.00	0.00	0.037
322	走行	2023/6/12 14:14	2023/6/12 14:29	3	15	78	セイヤウライン_小牧車庫			7,000		B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0.9778357	1.1	15.3%	2.52	0.36	0.12	0.053
322	走行	2023/6/12 14:29	2023/6/12 16:09	132	100		愛知県小牧市村中			7,000		B社	7,000	20000	35.0%	3.1	43.024772	46.2	32.9%	111.00	15.86	0.12	0.113
322	休憩	2023/6/12 16:09	2023/6/12 18:53	0	0	SA-						B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0	0.0	32.9%	0.00	0.00	0.00	0.113
322	走行	2023/6/12 18:53	2023/6/12 21:55	236	181	SA-						B社	7,000	20000	35.0%	3.1	76.923077	82.6	34.2%	198.46	28.35	0.12	0.117
322	休憩	2023/6/12 21:55	2023/6/12 23:46	0	0		埼玉県鶴ヶ島市太田ヶ谷					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0	0.0	34.2%	0.00	0.00	0.00	0.117
322	走行	2023/6/12 23:46	2023/6/13 0:01	18	15		埼玉県鶴ヶ島市太田ヶ谷			7,000		B社	7,000	20000	35.0%	3.1	5.8670143	6.3	34.2%	15.14	2.16	0.12	0.117
322	走行	2023/6/13 0:02	2023/6/13 0:16	7	14		埼玉県所沢市坂之下			7,000		B社	7,000	20000	35.0%	3.1	2.2816167	2.5	34.2%	5.89	0.84	0.12	0.117
322	休憩	2023/6/13 0:16	2023/6/13 4:54	0	0		埼玉県所沢市大字下富					B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0	0.0	34.2%	0.00	0.00	0.00	0.117
322	荷卸	2023/6/13 5:03	2023/6/13 6:23	0	0	128	B社_所沢			0	7,000	B社	7,000	20000	35.0%	3.1	0	0.0	34.2%	0.00	0.00	0.00	0.117
322	走行	2023/6/13 6:23	2023/6/13 6:42	8	18	128	B社_所沢					空車	0	20000	0.0%	3.1	2.6075619	0.0	33.6%	6.73	0.00	0.00	0.115
322	走行	2023/6/13 6:42	2023/6/13 6:46	5	4		埼玉県所沢市大字坂之下					空車	0	20000	0.0%	3.1	1.6297262	0.0	33.2%	4.20	0.00	0.00	0.114
322	走行	2023/6/13 6:47	2023/6/13 7:50	44	63		埼玉県新座市					空車	0	20000	0.0%	3.1	14.341591	0.0	30.0%	37.00	0.00	0.00	0.103
322	走行	2023/6/13 7:51	2023/6/13 8:29	13	37		千葉県柏市大青田					空車	0	20000	0.0%	3.1	4.2372881	0.0	29.2%	10.93	0.00	0.00	0.100
322	休憩	2023/6/13 8:29	2023/6/13 10:06	0	0	129	A社_柏					空車	0	20000	0.0%	3.1	0	0.0	29.2%	0.00	0.00	0.00	0.100
322	荷積	2023/6/13 10:09	2023/6/13 11:09	0	0	129	A社_柏			13,468	0	A社	0	20000	0.0%	3.1	0	0.0	29.2%	0.00	0.00	0.00	0.100



各種データ紐づけの工夫が必要となる

1. A社 幹線輸送実績(2024年4月)から見るCO2排出量の比較 (補足資料)

■算出に利用したデータ型 (サンプル)

① 運行ごとの貨物情報

② 自社：デジタコ
協力会社：算出距離

③ CO2計算 自社：実燃費
協力会社：みなし

実輸送	車番	積載kg	2015年 適合	フル車番	デジタコ (km)	共同配送データ (運用レギュレーション部分)				アスア算出システム									
						出荷日	納品日	発地住所	納品先住所	総重量 (標準かされたもの)	直送輸送距離 (km)	直送輸送 トンキロ	直送輸送 トンキロ合 計	実車全体 燃料使用量	実車全体 CO2排出量	荷主案分 CO2排出量	荷主 CO2排出量	納品先 CO2排出量	
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府 ■■■市○○町	大阪府 ■■■市○○町	10,445	401	436	138.9	127.7	2.96	2.66	135.5	4591	202.9
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府 ■■■市○○町	大阪府 ■■■市○○町	10,445	189	217	60.3	52.5	2.96	2.66	71.1	1760	86.6
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府 ■■■市○○町	大阪府 ■■■市○○町	10,445	401	461	155.7	135.5	2.65	2.38	168.5	4825	237.4
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府 ■■■市○○町	大阪府 ■■■市○○町	10,445	189	217	60.3	52.5	2.96	2.66	71.1	2019	99.3
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府 ■■■市○○町	大阪府 ■■■市○○町	10,445	401	436	138.9	127.7	2.96	2.66	135.5	3531	156.1
自社	▲△	20,000		■■_100_あ_△△	486	4/02(火)	4/03(水)	埼玉県○○市	愛知県▲▲▲市	11,450	189	218	60.6	52.5	2.96	2.66	71.1	2221	109.3
協力会社		20,000				4/02(火)	4/04(木)	埼玉県○○市	愛知県▲▲▲市	13,617	401	452	152.7	135.5	2.65	2.38	168.5	4677	230.1
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	埼玉県○○市	愛知県▲▲▲市	8,855	189	218	60.6	52.5	2.96	2.66	71.1	2210	108.8
協力会社		13,500				4/04(木)	4/04(木)	大阪府 ■■■市○○町	東京都○○市	12,100	186	220	56.4	47.7	2.96	2.66	69.9	1974	97.1
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	大阪府 ■■■市○○町	東京都○○市	10,699	189	222	73.3	62.4	2.96	2.66	63.9	2159	95.4
自社	▲△	13,500		■■_100_あ_△△	211	4/03(水)	4/04(木)	大阪府 ■■■市○○町	愛知県▲▲▲市	10,659	401	463	156.4	135.5	2.65	2.38	168.5	6544	322.0
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	大阪府 ■■■市○○町	愛知県▲▲▲市	9,833	189	222	73.3	62.4	2.96	2.66	63.9	2204	97.4
自社	▲△	20,000		■■_100_あ_△△	486	4/03(水)	4/04(木)	埼玉県○○市	愛知県○○市	12,033	401	436	138.9	127.7	2.96	2.66	135.5	4021	177.7
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	埼玉県○○市	群馬県△△△市	8,195	401	478	161.5	135.5	2.65	2.38	168.5	5376	264.5
自社	▲△	20,000		■■_100_あ_△△	486	4/04(木)	4/05(金)	埼玉県○○市	愛知県▲▲▲市	8,806	189	234	72.9	58.9	2.96	2.66	71.1	2140	105.3
協力会社		20,000				4/03(水)	4/05(金)	埼玉県○○市	大阪府 ■■■市○○町	16,955	401	443	141.1	127.7	2.96	2.66	135.5	5660	250.2
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	埼玉県○○市	愛知県▲▲▲市	7,747	189	219	68.2	58.9	2.96	2.66	71.1	1479	72.8
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	大阪府 ■■■市○○町	東京都○○市	11,546	189	221	47.4	40.6	2.96	2.66	71.1	2223	109.4
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	大阪府 ■■■市○○町	東京都○○市	10,971	401	427	136.0	127.7	2.96	2.66	135.5	5799	256.3
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	大阪府 ■■■市○○町	愛知県▲▲▲市	10,793	401	461	155.7	135.5	2.65	2.38	168.5	2742	134.9

1. A社 幹線輸送実績(2024年4月)から見るCO2排出量の比較 (補足資料)

■算出距離について Google Map API

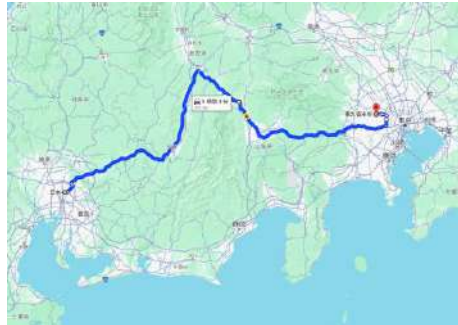
実輸送	車番	積載kg	2015年 適合	フル車番	デジタコ (km)	共同配送データ (運用レギュレーション部分)				アス算出システム									
						出発日	納品日	発地住所	納品先住所	積重量 (標準かさねたもの)	直送輸送距離 (km)	直送輸送トンキロ	直送輸送トンキロ割合	実車全体燃料使用量	実車全体CO2排出量	荷主実分CO2排出量	荷主CO2排出量	納品先CO2排出量	
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府■■市○町	大阪府■■市○町	10,445	401	436	138.9	127.7	2.96	2.66	135.5	4591	202.9
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府■■市○町	大阪府■■市○町	10,445	189	217	60.3	52.5	2.96	2.66	71.1	1760	86.6
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府■■市○町	大阪府■■市○町	10,445	401	461	155.7	135.5	2.65	2.38	168.5	4825	237.4
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府■■市○町	大阪府■■市○町	10,445	189	217	60.3	52.5	2.96	2.66	71.1	2019	99.3
協力会社		13,500				4/03(水)	4/03(水)	大阪府■■市○町	大阪府■■市○町	10,445	401	436	138.9	127.7	2.96	2.66	135.5	3531	156.1
自社	▲△	20,000		■■_100_あ_△△	480	4/02(火)	4/03(水)	埼玉県○市	愛知県▲▲▲市	11,450	189	218	60.6	52.5	2.96	2.66	71.1	2221	109.3
協力会社		20,000				4/02(火)	4/04(木)	埼玉県○市	愛知県▲▲▲市	13,617	401	452	152.7	135.5	2.65	2.38	168.5	4677	230.1
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	埼玉県○市	愛知県▲▲▲市	8,853	189	218	60.6	52.5	2.96	2.66	71.1	2210	108.8
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	大阪府■■市○町	東京都○市	12,108	186	220	56.4	47.7	2.96	2.66	69.9	1974	97.1
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	大阪府■■市○町	東京都○市	10,692	189	222	73.3	62.4	2.96	2.66	63.9	2159	95.4
自社	▲△	13,500		■■_100_あ_△△	217	4/03(水)	4/04(木)	大阪府■■市○町	愛知県▲▲▲市	10,684	401	463	156.4	135.5	2.65	2.38	168.5	6544	322.0
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	大阪府■■市○町	愛知県▲▲▲市	9,835	189	222	73.3	62.4	2.96	2.66	63.9	2204	97.4
自社	▲△	20,000		■■_100_あ_△△	480	4/03(水)	4/04(木)	埼玉県○市	愛知県▲▲▲市	12,033	401	436	138.9	127.7	2.96	2.66	135.5	4021	177.7
協力会社		13,500				4/03(水)	4/04(木)	埼玉県○市	群馬県△△△市	8,192	401	478	161.5	135.5	2.65	2.38	168.5	5376	264.5
自社	▲△	20,000		■■_100_あ_△△	480	4/04(木)	4/05(金)	埼玉県○市	愛知県▲▲▲市	8,806	189	234	72.9	58.9	2.96	2.66	71.1	2140	105.3
協力会社		20,000				4/03(水)	4/05(金)	埼玉県○市	大阪府■■市○町	16,992	401	443	141.1	127.7	2.96	2.66	135.5	5660	250.2
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	埼玉県○市	愛知県▲▲▲市	7,470	189	219	68.2	58.9	2.96	2.66	71.1	1479	72.8
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	大阪府■■市○町	東京都○市	11,546	189	221	47.4	40.6	2.96	2.66	71.1	2223	109.4
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	大阪府■■市○町	東京都○市	10,971	401	427	136.0	127.7	2.96	2.66	135.5	5799	256.3
協力会社		13,500				4/04(木)	4/05(金)	大阪府■■市○町	愛知県▲▲▲市	10,790	401	461	155.7	135.5	2.65	2.38	168.5	2742	134.9

■デジタコによる実走行距離とGoogle Map距離との差

走行ルートの違い

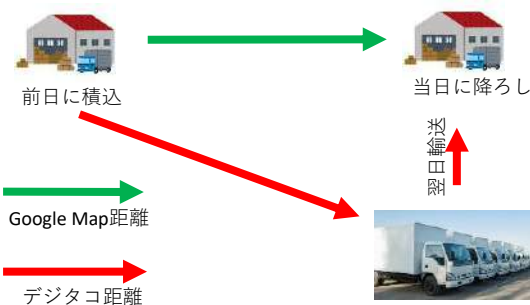


Google Mapが算出した最短距離 (350Km)



実際に走行した距離 (373Km)

前日に積み込みをした場合



1. A社 幹線輸送実績(2024年4月)から見るCO2排出量の比較

A社の2024年4月の幹線輸送実績より、燃費法（実燃費）、改良トンキロ法におけるCO2排出量を算出し、それぞれ以下の通り比較した。

1. 自社の走行距離とCO2排出量

	改良トンキロ法 (Google Map)	実燃費 (デジタコ)	改善率
走行距離 (km)	10,004	11,432	14.3 %
燃料使用量(ℓ)	5,372	3,615	
CO2排出量(CO2kg)	13,859	9,326	▲32.7 %

走行距離 = 14.3%増 に対し
CO2排出量は 32.7% 削減できた

2. 自社・協力会社数値のシミュレーション

単位：CO2kg

	改良トンキロ法 (Google Map)	Mix	改善率
自社	13,859	9,326	▲32.7 %
協力会社	91,323	91,323	
計	105,182	100,649	

単位：CO2kg

実燃費 (デジタコ)
9,326
61,453
70,779

(▲34,403 CO2kg)

今後の課題

改良トンキロ法ではなく実燃費に基づく計算でCO2の可視化は可能。

今後は荷主と元請けの連携を深めて配車指示データ（実績データ）の受け渡し強化を呼びかけると共に、協力会社を含めたデジタコデータからの走行距離をシームレスに抽出するスキームの確立を目指します

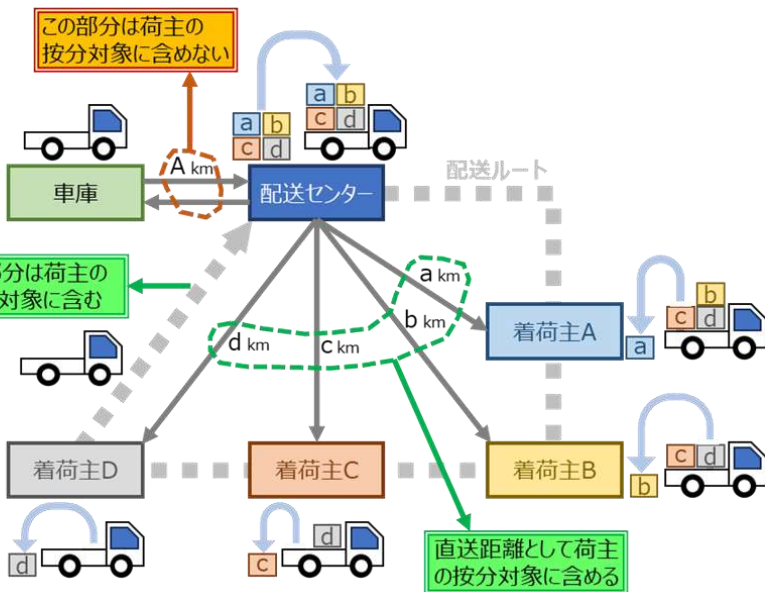
混載あり（共同配送）



案分方法の検討

※ WG05Bとの共通課題

直送距離のトンキロで案分



出典：一般財団法人環境優良車普及機構

荷主ごとにCO2排出量を
案分するために運送事業者として

どの様にデータを整理する必要があるか？

検討事項イメージ

- 配送ルートの実車距離の空車距離の把握方法
⇒実車、空車のルールの明確化
- 各拠点間の直送距離の把握、登録方法
- 積載データとの紐づけ など

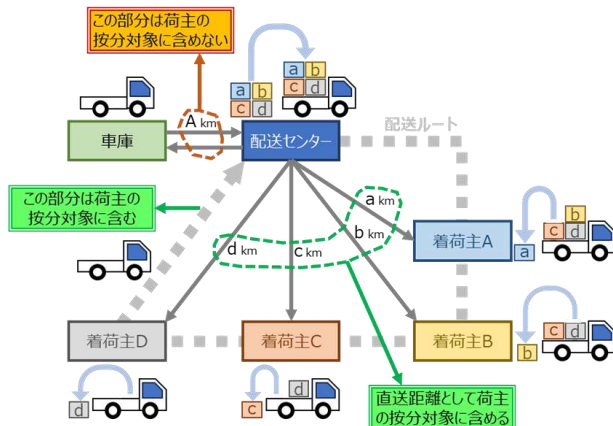
2. 共同配送実績(2024年2月 1週間)

混載あり (共同配送)

■算出に利用したデータ (抜粋)

デジタコ情報 (唐車などは運行計画から実車距離を出してもOK)				共同配送データ (運用レギュレーション部分)					燃費情報			アス算出システム							
フル車番	運行開始日	実車距離 (km)	空車距離 (km)	出荷日	荷主	発地住所	納品先住所	総重量 (標準かされたもの)	フル車番	燃費登録日 ※期間燃費	燃費	直送輸送 距離 (km)	直送輸送 トンキロ	直送輸送 トンキロ 合計	家分割合	実車全 体 燃料使 用量	実車全 体 CO2排 出量	荷主全 体 CO2排 出量	CO2排 出量
01	20240202	63.5	86.4	20240201	E社	愛知県	岐阜県	702.9		20240201	6.39	24.8	4.491	22.48	0.2			6.97	6.97
01	20240202	63.5	86.4	20240201	Y社	愛知県	岐阜県	2815.4		20240201	6.39	28.3	17.99	22.48	0.8	13.52	34.89	27.92	27.92
100	20240202	35	41.8	20240201	E社	愛知県	愛知県	6943.3		20240201	3.39	12.2	23.52	25.14	0.936			29.79	29.79
100	20240202	35	41.8	20240201	K社	愛知県	愛知県	477		20240201	3.39	12.2	1.616	25.14	0.064	12.34	31.84	2.046	2.046
100	20240206	44.3	49.2	20240205	E社	愛知県	愛知県	2378.7		20240201	7.33	12.2	17.44	61.62	0.283			1899	1899
100	20240206	44.3	49.2	20240205	K社	愛知県	愛知県	52		20240201	7.33	12.2	0.381	61.62	0.006			41.51	41.51
100	20240206	44.3	49.2	20240205	K社	愛知県	愛知県	614.4		20240201	7.33	12.2	4.506	61.62	0.073			490.5	490.5
100	20240206	44.3	49.2	20240205	Y社	愛知県	愛知県	5358.4		20240201	7.33	16.5	39.29	61.62	0.638	6.709	17.31	4278	4278
100	20240207	30.2	79.4	20240206	E社	愛知県	愛知県	1127.2		20240201	3.39	18.8	3.818	17.18	0.222			13.44	13.44
100	20240207	30.2	79.4	20240206	Y社	愛知県	愛知県	3943.1		20240201	3.39	18.8	13.36	17.18	0.778	23.44	60.47	47.03	47.03
130	20240207	71.2	60.9	20240206	E社	愛知県	愛知県	542.6		20240201	3.37	13.8	1.828	14.60	0.125			840.1	840.1
130	20240207	71.2	60.9	20240206	E社	愛知県	愛知県	421		20240201	3.37	33.1	1.418	14.60	0.097			651.8	651.8
130	20240207	71.2	60.9	20240206	Y社	愛知県	愛知県	2665.5		20240201	3.37	13.8	8.981	14.60	0.615			4127	4127
130	20240207	71.2	60.9	20240206	Y社	愛知県	愛知県	704		20240201	3.37	33.1	2.372	14.60	0.162	18.08	46.63	1090	1090

■2拠点距離をGoogleMapより自動算出し、2拠点の直送距離×重量距離 (トンキロ) で案分



出典:一般財団法人環境優良車普及機構

例)
A店の案分係数 =

$$A \text{ km (距離)} \times A \text{ t (重量)}$$

$$A \text{ km} \times A \text{ t} + B \text{ km} \times B \text{ t} + C \text{ km} \times C \text{ t}$$

荷主別	CO2排出量
E社	2,789.4 CO2-Kg
Y社	9,569.9 CO2-Kg
K社	534.1 CO2-Kg

荷主ごとのCO2排出量を算出することが可能となった

1 CO2削減に資するソリューションの実証実験の継続

- ・ 昨期から引き続きサポート会員のソリューションを事業者会員で実証実験

2 中小運輸事業者が目指す、CO2排出量の可視化

- ・ 実燃費と積荷データによる精緻なCO2計算
- ・ 元請けとして荷主に対する報告責任を果たせる仕組み作り（自社運行分 Scope1 + 協力会社依頼分 Scope3）の把握

3 SDGs 啓発活動

- ・ 取組支援ツール『SDGs ナレッジバンク』の作成
- ・ 啓発イベントの開催

「SDGs啓発活動」



- WG09：2021年から活動
- 運輸事業者への「SDGs取組推進啓発」をテーマに情報発信
- 昨年度までの取り組みにて・・・
事業者間で拡大してきていることを実感する一方、
取組フェーズに差が発生
- 3年目を迎え・・・より進化（深化）した情報を発信していきたい!!
- 事業者が簡単に参考にできるツール類があったらいいのでは？
- では、どうする！？

「SDGs啓発活動」 2023年度方針

① 取組支援ツールの作成

② 啓発イベントの開催

支援ツールの作成

TDBCの会員構成を活かし

- ✓ 事業者会員の皆様からは、SDGs取組事例を収集し、情報を蓄積
- ✓ サポート会員の皆様の持つSDGs取組に寄与するソリューションも見える化

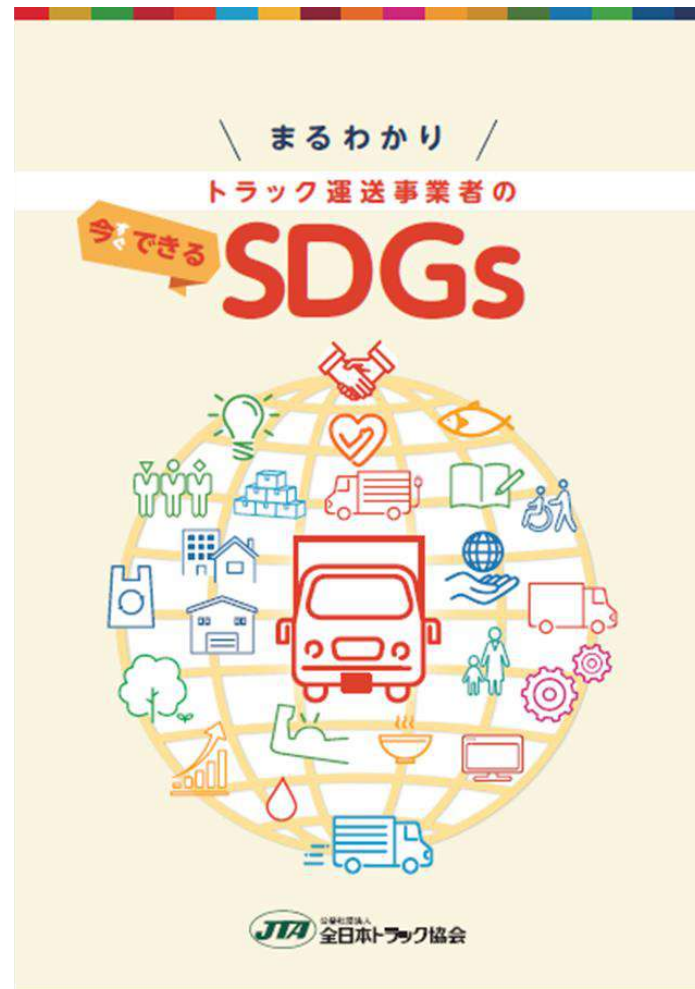
SDGs 取組事例集

「TDBC SDGsナレッジバンク」

参考にしたのは・・・

全日本トラック協会様
2022年6月作成

「まるわかり
トラック運送事業者の
今すぐできるSDGs」



トラック運送事業者の

株式会社 長野トランスポート (信濃県信濃市)

企業概要 期間限定会社にて本社を構え、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県にも営業所を置き、九州を中心に様々な一般貨物や建設資材などの輸送を行っている。

代表取締役: 長野 昌巳
設立: 1985年3月20日
資本金: 1,000万円
社員数: 85人 (うちドライバー 65人)
車両数: 86台

取組理由

「安全性の高いトラック輸送事業のことで、一般の方々にもっと多く、もっと深く知ってもらい、自社の取組みを正しく理解願いたい上で、社会をより良くしたい」



具体的な取組み

女性が活躍できる職場へ

- ※専任企業と連携し、女性に選ばれる経営の仕組み(送客業務の確保)
- ※専任企業と対し、女性従業員との連携強化(労働改善)
- ※ハラメント(相談窓口)設置、女性専用トイレの整備等すべてに設置
- ※産休・育休制度の導入、女性管理職の積極的なキャリアパスを明確化



主な目標・成果

総計16人の女性従業員が活躍、営業所長の高い女性管理職も多い

労働環境改善で健康起因事故を根絶

- ※専任企業と連携し、労働・健康問題の是正
- ※新たな管理職が安全管理の徹底結果を一応管理し、健康診断受診率・再検査受診率は共に100%
- ※健康に関する社内研修の充実と健康に関する情報の提供
- ※自社「トレーニングジム」を保有、全営業所に水素水生成器を設置



安全・安心な輸送を確保するための、健康起因事故ゼロを達成

廃棄流木を活用して「循環型社会」を目指す

- ※廃棄物の処理業者や森林組合などと連携し、廃棄流木を受け入れ
- ※受け入れた廃棄流木の加工(炭化・炭素)を行い、おがくずを製品し、食品事業者や家庭関係で活用される循環型に供給



循環型を実現していた廃棄物資源として別荘に活用中

法令遵守のために荷主と連携

- ※標準的な運賃表を用い、運賃の適正化を図る
- ※専任企業と連携し、運行経路の合理化、荷役時間の短縮を推進
- ※働きやすい職場環境(最上位である「EcoJob」取得に向けた社内改善)
- ※業務の標準化を図り、有給休暇の取扱い(就業時間外を短縮)
- ※企業でデジタル化を推進、毎年度安全確保を推進し、事故防止を推進



安全・安心な輸送を確保するための法令遵守を推進し、数々の法的企業事故を回避

SDGsに貢献すること

- ※「日々の業務がSDGsに繋がっていく」と気付くことで従業員の質の向上に期待ができる
- ※「先進的な取組みをしている運送事業者」と認識されることで、新たな取引機会が期待できる
- ※我が国の経済活動を支えるトラック輸送を守り続けるために、SDGsへの取組みは欠かせない

全日本トラック協会掲載(2022年6月) 4040(2)15頁27

SDGsへの取組み事例

株式会社 山本運搬 (東京都京都市)

企業概要 販賣物卸売・処置を中心に事業を展開、店舗やオフィス、高層ビルなどから排出される廃棄物ごみをパッカー車等で回収し、本社敷地内の工場で中間処理を施し、最終処分される廃棄物やリサイクルされる資源をランプ車やコンテナ車、パワージェット車等で輸送している。

代表取締役社長: 山本 敬樹
創業: 1949年4月
設立: 1992年2月
資本金: 5,000万円
社員数: 84人 (うちドライバー42人)
車両数: 38台

取組理由

「生活を支える社会的インフラとして事業の発展を、もっと多くの人に認めていきたい」



専任会社による高層ビルリサイクルの廃棄物輸送の様子。専任のトラックドライバーのトラック

具体的な取組み

環境保全への取組み

- ※従業員に自然環境の保全を身近なものとして考えてもらうため、「あっぱろプロジェクト」を2016年から開始。都市圏域により採取した植物の化学分析を行い、食品衛生上問題がないと判定された化学分析の結果、「あっぱろプロジェクト」を発行し、資源・リサイクルに関する啓発や「あっぱろプロジェクト」を実施
- ※古弊・古紙・リサイクル工場「あっぱろプロジェクト」を開設し、古弊・古紙を供給す。分別して回収して再利用することで、資源保全とCO2削減を推進



主な目標・成果

1997年のCO2削減目標を達成し、2021年にSDGsを推進的となった東京都を模範とする企業として、次々とので新しい社会的インフラとしての責務を担うための取組

社会への責任

- ※体力的に負担の少ない中継処理工場や販賣物の運送/搬入作業を、高齢従業員が多くが担当
- ※障がいを持っている従業員が抱えることのできる各々の課題に寄り添い、給与水準は一般業種の従業員と同水準とし、欠くことのできない協力として処遇
- ※JICA(国際協力機構)と連携し、海外から視察団を積極的に受け入れ



高齢者や障がい者が安心して働くことができる職場の提供。障がいを受け入れる従業員が2人増え、労働時間や給与水準を企業(京都市にある企業)に匹敵

ガバナンスの取組み

- ※EISAE(株付)を「取組」し、現状状況の見える化を図る
- ※透明性の高い執行評価による人事制度の導入
- ※プライバシーマークを取得し、個人情報保護の確保・管理体制の構築・社内教育の充実を図る。また、Gマークを取得し、事故防止に取組みを推進
- ※防災・減災への対応について対策立案し、中小企業「事業継続力強化計画」の認定を取得。またEISAE(株付)は、日本国内の売上高の中間・中小企業を対象とした賞状を交付す。



取引先に対し顧客の安全確保を促し、従業員に加工賃削減の多い人事評価制度を導入することで、持続可能な経営の推進を推進

SDGsに貢献すること

- ※取組みの積極的な情報発信を速し、私たちの存在をもっと知ってもらいたい
- ※安心して、未来(取引)を頂けるビジネスパートナーの獲得が期待できる
- ※従業員がSDGsへの理解を深め、取組みを積極的に進めることが大切



※全日本トラック協会様 2022年6月作成
「まるわかり今すぐできるトラック事業者のSDGs」からの抜粋

「運輸事業者SDGs取組・活動」アンケートの実施

TDBC会員の皆様 WG09からのご案内です



「運輸事業者SDGs取組・活動」アンケート へのご協力をお願いします

WG09は2021年に新たにWGを結成以来、運輸事業者の皆様の「SDGsのお取組推進」にお役立て頂こう情報発信をして参りましたが、今年度は3年目を迎え、**より進化した情報の発信**（ガイドブックの作成・セミナーの開催等）をして参る方針です。

そこで、TDBC会員の皆様に、SDGsについてのアンケートを実施させて頂くことに致しました。お忙しいところ大変恐縮ですが、アンケートへのご協力につき宜しく申し上げます。



事業者会員の皆様	自社のSDGs取組・活動内容について
サポート会員の皆様	運輸事業者様のSDGs取組に貢献する商品・サービスについて
パートナーシップ会員の皆様	お取引の運輸事業者様に期待する、SDGs取組について

ご回答締切：2024年1月19日（金）

アンケート回答
所要時間 約5分

【ご回答方法】 下記リンクのアンケートフォームにてご回答をお願いします。

<https://forms.office.com/r/9DNPazQij6>

- ① スマホカメラにて右記QRコードを読み取っていただくアクセスできます
- ② 1/9に事務局よりお送りしたメール内のリンクからもアクセスできます



2024年1月9日
TDBC事務局より
全会員にメール発信

2024年1月10日
TDBC賀詞交歓会にて
参加者にチラシ配布

アンケートの内容

<事業者会員>

- SDGs取組状況
- TDBCとしてのガイドブック作成に向けた、ヒアリング実施へのご協力 可否
- セミナー登壇 可否

<サポート会員>

- ソリューションの内容
- SDGSの貢献 有無
- TDBCとしてのガイドブック作成に向けた、ヒアリング実施へのご協力 可否
- セミナー登壇 可否

<パートナーシップ会員>

- SDGsの観点にて、自社の物流を担う運輸事業者への期待について

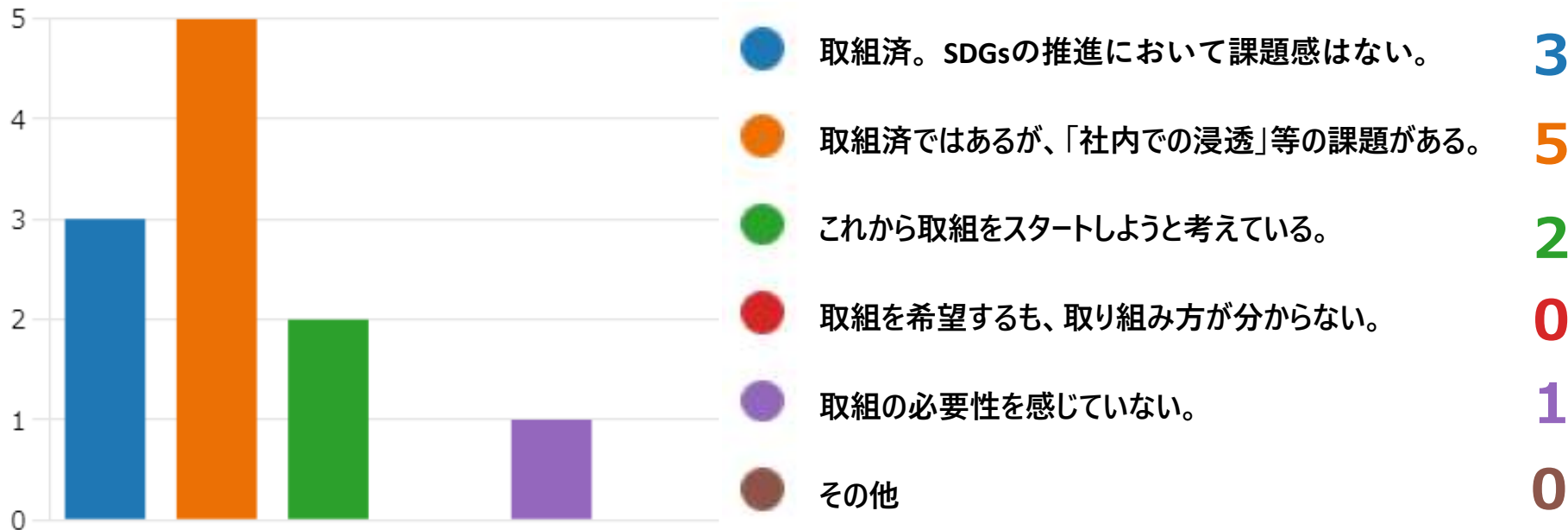
アンケートの結果（抜粋）

アンケートへのご協力 28名

（事業者会員 11名、サポート会員 16名、パートナーシップ会員 1名）

（事業者会員の皆様）

貴社／貴団体では、「SDGs」に取り組んでいらっしゃいますか？



アンケートの結果（抜粋）

事業者会員		はい	いいえ	その他
「TDDBCとしてのガイドブック作成」へのご協力	可否	6	2	2
WG09主催セミナーへのご登壇	可否	4	3	3

サポート会員		はい	いいえ	その他
「TDDBCとしてのガイドブック作成」へのご協力	可否	6	1	4
WG09主催セミナーへのご登壇	可否	3	2	6

「TDBC SDGsナレッジバンク」(第一弾) 作成にご協力頂くこととなった企業様

事業者会員 5社

事業者会員









1	アルピコ交通株式会社 様
2	株式会社アルプスウェイ 様
3	サーラ物流株式会社 様
4	株式会社セイリョウライン 様
5	谷口運送株式会社 様

サポート会員 9社

サポート会員

1	株式会社アルファス
2	ジャパン・トゥエンティワン株式会社
3	株式会社スマートバリュー
4	株式会社ネミエル
5	株式会社パイオニア
6	LocationMind株式会社
7	日本ミシュランタイヤ株式会社
8	株式会社商工組合中央金庫
9	株式会社アスア

「TDBC SDGsナレッジバンク」作成 工程表

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アンケート作成									
アンケート実施									
アンケート結果の集計									
WG09内 役割分担決定									
会員へのヒアリング 項目の決定									
会員へのヒアリング 実施									
SDGs支援ツール 作成									
支援ツールリリース お披露目セミナー									

TDBC
フォーラム
(7/5)

ご協力企業様へのインタビューの実施（3月～5月）

インタビューシートイメージ

【TDBC SDGs ナレッジバンクインタビューシート（事業者会員様 用）】

会社名	サーラ物流株式会社		
インタビュー ご回答者様	所属/役職	氏名	
	管理職 企画グループ マネージャー	船川 和志 様	
	職業	伊藤 千絵 様	

<企業概要>

- ・Eメール～配達メイン、その他に一般貨物輸送事業、倉庫業、韓国文書出荷業務など。
- ・
- ・

【ご質問1】 お取組をはじめたきっかけについて（調査、写真等があればご提供をお願いして欲しい）

- ・いろいろなことに取り組んでいたことが、結果 SDGs の項目として有効だった。
- ・リーン経営やモットー物流などに力を入れており、3、7、11、13に当てはまる内容を実施中。
- ・Gr 関連では農協市内のフードバンクの活動をしている。（輸送は別号せず、従業員の良い食品を提供する例）
- ・
- ・

【ご質問2】 お取組内容について（ゴール毎にセグメントも添えて）（調査、写真等）

【具体的に実施されている活動内容など】

項目	具体的活動	主な目標/成果	対応する ゴール
環境への 責任	・SDGs はサーラグループで取り組んでいる活動が多い。		
	・個人経営家業の目的で韓国文書輸送をしつつも、一方で廃却しないで再利用しリサイクルといった SDGs の観点で価値を感じるお客様もいる。		
環境への 責任	・全日本韓国文書輸送協会の団体に加盟している。		
	・全国で約 60 社程度加盟している。		
	・共同配達は取り組みとして掲げている。（※北海道以外）		
	・移動式のトラック水素ステーションの稼働。（※京都市にサーラで共同）		
	・サーラ物流で天ぷら油を回収、再生成しバイオディーゼルの燃料に（グループで経営しているホテルや、飲食店から多少の費用を支払い取っている）		
	・営業所内の電気を LED 化		
	・組合員のエコ活動を集計と奨励		
環境への 責任	・紙燃費タイプの導入		
	・省燃費の運転研修（FUSO、HINO が講師）		
	・（外部講師を招いて社内、社員へ奨励している）		
	・グループで二酸化炭素の排出量は 3 万トン、物流では 1 万トン、グループで 4 6 社あるなかで、物流で 1 万トン、E.V 車導入もまだ技術面が難しく進んでなく、導入に二の足を踏んでいる。2		

【TDBC SDGs ナレッジバンクインタビューシート（事業者会員様 用）】

	030 年に向け排出量を減らす目標も、物流では事業拡大に伴い増加傾向。		
	・豊橋市の中学生向け、「地元企業としてサーラ物流の環境取組みなど」の授業を実施、環境取組みなどを告知できた。		
社会への 責任			
ガバナンス の取組			

【システムや機器、コンサル等の社外の企業様の製品やソリューションの導入状況とその内容など】

（メーカー、製品ソリューション名 等）	概要	対応する ゴール

【ご質問3】 社外への発信方法について

- ・SDGs 宣言： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※宣言の内容をご提示下さい
- ・会社 HP での紹介： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※HP 該当ページへのリンクをご提示下さい
- ・会社案内への掲載： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※PDF データ等でのご提供は可能でしょうか？
- ・広報資料： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※PDF データ等でのご提供は可能でしょうか？
- ・自治体の SDGs 宣言・登録・認定制度/等： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※自治体名（長野県）
- ・取引銀行等による SDGs 評価制度/等： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※取引銀行名（ ）
- ・セミナー等での講演実績： 有 ・ 検討中 ・ 無 ※セミナー主催者（ ）
- ・その他

テレビ出演が安否で、長野放送（TV 朝日系列）SDGs 情報/特番で告知

【ご質問4】 関係者の皆様のお声 等】

【お取引先様（荷主、元請）のお声】

- ・韓国文書は、リサイクルの観点で、お客様から好評がある。
- （その他の取組みは公表していない/外部からの声はきかない）

【従業員の皆様（ドライバーの皆様、管理者の皆様）のお声】

- ・管理者は意識が上がってきている。
- ・ドライバーの意識は、エコドライブ⇒事故の減少につながったと、営業所からの褒めがある。
- ・ドライバーは、まだに浸透のほうはかかる。若い方は理解してくれている感じはする。

【TDBC SDGs ナレッジバンクインタビューシート（事業者会員様 用）】

【ご質問5】 取組開始以降に「良かった事、変化した事、ご苦労された事...等」

【良かった事】

- ・サービスの目的の1つに SDGs による理由がつけ、お客様も価値を感じて頂ける点は良かった。

【変化した事】

- （に両方「工夫」された事）
- ・従業員への活動の浸透（深い理解と自発性かな？）には課題がある。

【その他】

【ご質問6】 現時点における、SDGs の推進上の課題/悩みなどあれば】

- ・全員が当事者意識をもって取り組んでいない点。
- ・グループの中で、物流の取組みが思い付いていない、なかなかリソースがかけられない。

【ご質問7】 TDBC WGO9 に対して維持することがあれば】

- ・いろいろな各社の取組み事例、成功事例を公表していただき参考にさせて欲しい。
- ・従業員への浸透の事例もあった方がよい。
- ・
- ・

【ご質問8】 その他】

- ・
- ・
- ・
- ・

以上

「TDBC SDGsナレッジバンク」 第一弾の完成！！ (6月)



SDGs ナレッジバンク

2016年に国連サミットで採択されたSDGsは近年日本でも取組を進める企業・団体が急増してきており、TDBCでもSDGsの啓蒙活動を進めるWG09にて、2021年のWG開始時より、運輸業の皆さまにご理解を深めて頂く為のSDGsセミナーを毎年開催して参りました。SDGsに取組む企業は年々増えているものの、同時に「取組んでいるのだけ効果は実感できない」といった経営者の皆さまの声もよく聞かれるようになったこと、また取組みのフェーズ毎に各社様で必要な情報も異なってくることなどから、この度TDBCでは会員が取り組んでいるSDGs活動や、サポート会員が保有するSDGsなソリューションが一目で分かる「SDGsナレッジバンク」を構築しました。

関連するSDGsのゴール

サポート会員

会社名(敬称略)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
株式会社アルファス No. 01																	
2017年トップコンテイナー株式会社 No. 02																	
株式会社スマートパルス No. 03																	
株式会社エムセル No. 04																	
株式会社ハイオニア No. 05																	
LogosMind株式会社 No. 06																	
日本キリンシステムズ株式会社 No. 07																	
株式会社アスア No. 08																	
株式会社 物工組合中央会館 No. 09																	
株式会社 プリネストン No. 10																	
集計結果	0	0	2	0	0	0	4	3	4	0	4	2	4	2	2	0	0

事業者会員

株式会社セイリョウライン



取組内容

無事故日数に応じた寄付



エコキャップ運動



エコドライブ



事業者会員

谷口運送株式会社



取組内容

働きやすい職場認証2つ星



使用済ストレッチフィルムのリサイクル



エコドライブ





SDGs ナレッジバンク

実際のページでご紹介致します。

<https://tdbc.my.canva.site/>

2023年度活動 成果

「SDGsナレッジバンク」第一弾の完成

まだ、「ひよこ」ではありますが・・・

TDBC会員企業様のお取り組みや、サポート企業様の商品・ソリューションとSDGsとの関係について、見える化するプラットフォームを立ち上げることが出来ました。

WG09では・・・

「TDBC SDGsナレッジバンク」

への掲載企業様を募集しております。

SDGsのお取組のフェーズにかかわらず、掲載についてご興味・ご関心がお有りの企業様、お気軽にご連絡をお願い致します。

まずは、TDBC事務局にお問い合わせをお願いします。

今、流行りの「Chat GPT」に聞いてみました！！

質問 1

運送会社の経営をしています。

当社では、**所有しているトラック車両の全車両にドライブレコーダーの設置をしています。**

この取り組みはSDGsに沿った取組であると考えていますが、SDGSのゴールのどのゴールに該当するでしょうか？

整理をしてください。

運送会社として所有しているトラック車両全てにドライブレコーダーを設置するという取り組みは、SDGsの以下の目標に該当すると考えられます。

目標8（働きがいも経済成長も）：ドライブレコーダーの設置は、従業員の安全を守るための取り組みであり、労働環境の安全性を高めることにつながります。

目標9（産業、革新、インフラの構築）：ドライブレコーダーの設置は事故防止や運送効率の改善につながるため、安全な運送システムの整備や技術の革新を通じた産業の効率化に寄与します。

目標11（持続可能な都市とコミュニティをつくろう）：ドライブレコーダーの設置は交通事故の防止や事故発生時の原因究明に役立つため、安全な交通環境の実現に寄与します。

これらの目標は、社会と環境の持続可能性を目指すSDGsの理念に沿ったものであり、あなたの会社が社会的な価値を創出していることを示しています。

質問 2

運送会社の経営をしています。

当社では、**全社一丸でエコドライブに取り組んでいます。**

この取り組みはSDGsに沿った取組であると考えていますが、SDGSのゴールのどのゴールに該当するでしょうか？

整理をしてください。

運送会社がエコドライブに取り組むことは、複数の目標に関連があります。

目標7：アフォーダブルでクリーンなエネルギーを確保しよう

エコドライブは、燃料の効率的な使用を通じてエネルギー消費を減らすため、クリーンで持続可能なエネルギーの提供と利用を促進します。

目標9：産業をつくり、イノベーションを生み出し、インフラを整備しよう

運送業は基幹産業の一部であり、エコドライブによる効率的な運行は、持続可能な産業化とイノベーションの推進に寄与します。

目標11：都市と人間の居住地を持続可能にしよう

エコドライブは渋滞の緩和や騒音の低減、大気質の改善など、持続可能な都市とコミュニティの開発に寄与します。

目標12：持続可能な消費と生産形態を確保しよう

エコドライブは、持続可能な消費と生産の方向に進化するための具体的な行動と言えます。これは、資源の効率的な使用を促進し、廃棄物と汚染を減らします。

目標13：気候変動に具体的な対策を

エコドライブは、燃料消費と排出ガスを減らすことで、気候変動の影響を緩和する重要な役割を果たします。

以上、運送会社がエコドライブに取り組むことは、直接的または間接的にSDGsの複数の目標に対して貢献することができます。

質問 3

運送会社の経営をしています。

当社では、**女性ドライバーの積極採用**に取り組んでいます。

この取り組みはSDGsに沿った取組であると考えていますが、

SDGSのゴールのどのゴールに該当するでしょうか？

整理をお願いします。

女性ドライバーの積極採用に取り組むことは、SDGsの以下の目標に対応しています。

目標5：ジェンダー平等を実現しよう

女性ドライバーの積極採用は、ジェンダー平等の実現に直接貢献します。これは、男性主導の職業である運転手の職に女性を導入することで、職場でのジェンダーバランスを改善し、性別による差別を減らすことを意味します。

目標8：働きがいも経済成長も

女性の雇用機会を増やすことは、全体の雇用創出と経済成長に貢献します。また、働きがいのある労働環境を提供することで、目標8にも対応します。

目標10：人や国の不平等をなくそう

女性ドライバーの採用は、社会経済的な地位に関わらず全ての女性に対する機会の均等な提供を意味するため、社会経済的な不平等の減少に寄与します。

以上のように、運送会社が女性ドライバーの積極採用に取り組むことで、ジェンダー平等の実現、働きがいのある労働環境の提供、そして社会経済的な不平等の減少という、SDGsの複数の目標に対して貢献することができます。



【セミナー告知】

企業の持続可能な成長のための、

「TDBC SDGsナレッジバンク セミナー」

～ SDGsの取組で新たなビジネスチャンス～

■開催日時：**2024年 9月3日(火) PM <予定>**

■セミナー内容（予定）：

- ・SDGsから見えてくるビジネスチャンスとリスク
- ・運送事業者がSDGsに取り組む意義
- ・運送事業者の取組実例のご紹介 等

※「SDGsナレッジバンク」にご協力頂いた企業の皆様の活動をご紹介

■申込方法：近日中ご案内の予定



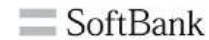
一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>

unyu.co@wingarc.com

03-5962-7370

協議会スポンサー



持続可能な運輸業界を目指し、あらたな未来へ